

学校における食物アレルギー対応の手引き Question一覧

番号	内容	掲載頁
I 食物アレルギーの基礎知識		
Q.1	食物アレルギーはどのような仕組みで発症するのですか？	1
Q.2	食物アレルギーと間違えやすい疾患にはどのようなものがありますか？	1
Q.3	食物アレルギーの検査や診断にはどのようなものがありますか？	2
Q.4	即時型食物アレルギーの症状にはどのようなものがありますか？	3
Q.5	即時型食物アレルギー症状に対してはどのような処置や投薬がありますか？	4
Q.6	即時型食物アレルギー症状に対する薬は、同時に使用しても問題ありませんか？	4
Q.7	特殊なタイプの即時型食物アレルギーとはどのようなものですか？	5
Q.8	即時型食物アレルギーの原因食品にはどのようなものがありますか？	6
Q.9	即時型食物アレルギーの原因食品にはどのような特徴がありますか？	7
II 食物アレルギー対応の基本的な考え方		
Q.10	「市町村教育委員会」は何をすればよいのですか？	10
Q.11	「学校」は何をすればよいのですか？	10
Q.12	「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」とは何ですか？	11
Q.13	「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」は誰が提出するのですか？	11
Q.14	学校において管理を必要とする場合とはどのような場合ですか？	11
Q.15	「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」は毎年提出するのですか？	12
Q.16	「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」の提出はいつから必須となったのですか？	12
Q.17	「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」に記載された事項はどのように活用されるのですか？	12
Q.18	学校に食物アレルギーを有する児童生徒がいない場合でも、緊急時の対応の体制づくり等は必要ですか？	13
Q.19	教職員の研修は毎年行う必要がありますか？	13
Q.20	研修を効果的に行うにはどんな方法がありますか？	13
Q.21	医療・消防機関との連携の目的は何ですか？	13
Q.22	食物アレルギーとは何ですか？	14

Q.23	食物アレルギーの知識が必要なのはどうしてですか？	14
Q.24	食物アレルギーを有する児童生徒はどれくらいいるのですか？	14
Q.25	安全性を最優先するための課題は何ですか？	15
Q.26	食物アレルギーを有する児童生徒にも学校給食を提供するためにはどんなことに取り組みとよいですか？	15
	市町村教育委員会における対応	
Q.27	食物アレルギー対応に関する委員会の委員はどのような構成にするのですか？	17
Q.28	食物アレルギー対応の基本方針にはどのような項目を盛り込むのですか？	17
Q.29	食物アレルギー対応に関するマニュアルにはどのような項目を盛り込むのですか？	18
Q.30	医療機関との連携についてはどのようなことを行うのですか？	18
Q.31	消防機関との連携についてはどのようなことを行うのですか？	18
Q.32	食物アレルギー対応に関する研修会はどのような機会と組み合わせて行うとよいですか？	19
Q.33	食物アレルギー対応に関する研修のポイントとしてどんなことがありますか？	19
	学校における対応	
Q.34	校内の食物アレルギー対応に関する委員会の委員はどのような構成にするのですか？	21
Q.35	校内の食物アレルギー対応に関する委員会ではどのようなことを協議しますか？	21
Q.36	食物アレルギー対応の方針にはどのような項目を盛り込むのですか？	22
Q.37	児童生徒の実態把握の調査や申請の受け付けをどの時期に行いますか？	23
Q.38	個別面談の内容にはどのような例がありますか？	24
	Ⅲ 食物アレルギーを有する児童生徒への対応	
Q.39	給食の時間での誤食等の事故防止のために決めるとよいルールにはどんなものがありますか？	27
Q.40	食物アレルギーを有する児童生徒が、アレルゲン除去の解除となった場合の給食の時間の配慮にはどのようなものがありますか？	27
Q.41	食品を扱う授業や活動での配慮にはどのようなものがありますか？	28
Q.42	牛乳パックのリサイクルではどんな点が危険ですか？	28
Q.43	そば打ち体験ではどんな点が危険ですか？	28
Q.44	運動に関連したアレルギー疾患にはどんなものがありますか？	28
Q.45	食物依存性運動誘発アナフィラキシーはどんな時に発症しますか？	29

Q.46	校外活動で食物アレルギー対応の注意が必要となるのはどのような場合ですか？	29
Q.47	宿泊を伴う校外活動での注意点は何か？	29
Q.48	全ての児童生徒に対して食物アレルギーについてどんな指導が必要ですか？	30
Q.49	食物アレルギーを有する児童生徒の保護者との連携にはどのようなことがありますか？	30
Q.50	小学校の家庭科ではどんな学習が考えられますか？	31
Q.51	中学校の技術・家庭科（家庭分野）ではどんな学習が考えられますか？	32
Q.52	高等学校ではどんな学習が考えられますか？	32
Q.53	食に関する指導の全体計画を作成するポイントは何ですか？	33
Ⅳ 学校給食における食物アレルギー対応		
Q.54	学校給食において食物アレルギーの対応を行う場合とは、どのようなことですか？	34
Q.55	「調味料・だし・添加物等」に含まれる微量のアレルゲンとはどのようなものですか？	35
Q.56	食品表示法に基づく注意喚起表記とはどのようなものですか？	35
Q.57	弁当対応の場合はどのようなことに留意するとよいですか？	35
Q.58	家庭では医師の指導を受けて原因食品を少量ずつ食べていますが、学校でも同じように対応できませんか？	36
Q.59	学校給食は毎日飲用牛乳があります。飲用牛乳を飲まなければ、主食や副食は、乳が使用されていても食べても大丈夫だと医師から言われました。飲用牛乳をやめて、主食や副食を食べる対応は可能ですか？（アレルゲン：乳）	36
Q.60	学校給食は主食がパンや麺の日もあります。主食のパンやめんを食べなければ、副食は、小麦が使用されていても食べても大丈夫だと医師から言われました。主食のパンやめんをやめて、副食を食べる対応は可能ですか？（アレルゲン：小麦）	36
Q.61	卵、乳及び小麦の除去食対応・代替食対応の目標について期限等がありますか？	37
Q.62	「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）の「学校給食における食物アレルギー対応の原則的な考え方」に、「アレルギー対応献立はできる限り最小限に集約して調理するようにし、アレルゲンごとに別々の献立や調理方法を設定しない。」とありますが、これはどのようなことですか？	37
Q.63	卵・乳・小麦以外のアレルゲンについて除去食対応や代替食対応を行ったり、アレルゲンごとに除去食や代替食を調理したりすることについて、制限はありますか？	38
Q.64	施設、人員等の環境整備にはどのようなことがありますか？	38
Q.65	学校給食における食物アレルギー対応に関する毎月の実施内容についてはどのような流れで確認するのですか？	42
Q.66	詳細な献立表にはどのようなことを記載しますか？	42

Q.67	献立作成における食物アレルギー対応基本方針にはどんなことを盛り込むのですか？	44
Q.68	原因食品で、食物アレルギーを発症した場合に特に重篤度の高い原因食品や発症数の多いものはありますか？	44
Q.69	原因食品の使用頻度については、どのようなことを考慮しますか？	45
Q.70	原因食品の使用方法については、どのようなことを考慮しますか？	45
Q.71	除去食・代替食の提供に当たっては、何を考慮するのですか？	45
Q.72	セレクト給食やバイキング給食については、どんなことを考慮しますか？	46
Q.73	献立の変更はどんな場合に考えられますか？	46
Q.74	食物アレルギー対応のための確認作業はどんなタイミングで行うとよいでしょうか？	47
Q.75	除去食・代替食対応を行うための調理器具や食器、食品の管理とはどのようなことですか？	47
Q.76	除去食・代替食対応を行うため、調理担当者の区別化で大切なことは何ですか？	48
Q.77	除去食・代替食対応の、調理作業場所の区別化をどのように行うとよいですか？	48
Q.78	食物アレルギー対応食を調理するための、作業工程表・作業動線図のポイントは何ですか？	48
Q.79	除去食対応を始めるためにどんな機器や器具をそろえればよいですか？	50
Q.80	代替食対応を始めるためにどんな機器や調理器具をそろえればよいですか？	50
V 緊急時の対応		
Q.81	食物アレルギーを有する児童生徒が、体調の変化を訴えた場合はどうしますか？	57
Q.82	食物アレルギー症状が現れたら、基本的な対応はどのようにするとよいですか？	57
Q.83	エピペン [®] が処方されている児童生徒に、食物アレルギーの症状が現れた場合はどうしたらよいですか？	57
Q.84	エピペン [®] は誰が打つのですか？	58
Q.85	アレルギー症状に対して処方されている薬を早期に使用してもよいですか？	58
Q.86	食物アレルギーを有する児童生徒が、誤食した時にはどうするとよいですか？	58
VI 安全（事故防止）への対応		
Q.87	「学校におけるアレルギー疾患対応資料（DVD）」はどんな内容ですか？	65
Q.88	校内研修はどのような内容とするのですか？	66
Q.89	校内研修はどのような時期に行うのですか？	66